

もっと安心 もっと住みやすい これからの国立富士見台団地のために

団地まちづくり通信

第 5 号

2025 (令和 7 年) 10.21



発行：国立市 富士見台地域まちづくり担当

協力：国立富士見台団地自治会・UR都市機構

令和 7 年 7 月 29 日 (火)、8 月 6 日 (水)、国立富士見台団地では、暮らしの質を向上させるため、「国立富士見台団地の再生 (建替え) を考える座談会」を開催しました。詳細は P 2～P 7 をご覧ください。



また、9 月 20 日 (土) に団地まつりにて座談会のブースを出させていただき、これまでの座談会の紹介をパネル展示し、お立ち寄りされた方々と直接お話をさせていただきました。

この座談会は、今後も団地の将来についてお住まいの皆様と丁寧に情報共有を図り、ご意見をお伺いする場として継続していきます。

次回の座談会のお申し込み方法などは、下記をご覧ください。

次回座談会の申し込み方法

P 8 の「お問い合わせ」にお電話、または右の QR コードを読み取り、入力フォームにて、**10月29日 (水)** までにお申し込み下さい。
(会場の都合上、事前申し込みにご協力下さい。)



申し込み QR コード

第 3 回 座談会 (第 1 団地)

日時 : **11月4日 (火)** 午後 7:00～午後 9:00 頃
場所 : 国立富士見台第 1 団地 集会所 1-1
テーマ : 第 1 団地の地域活動拠点のあり方を語り合おう !

第 4 回 座談会 (第 2・第 3 団地)

日時 : **11月5日 (水)** 午後 7:00～午後 9:00 頃
場所 : 国立富士見台第 3 団地 集会所 3-2
テーマ : 重点エリアの新たな骨格空間のイメージを具体化しよう !

「座談会に出席したいけれども、都合がつかない」などの声を受け、書面にてご意見をお寄せいただけるよう、座談会の開催に合わせ「ご意見箱」を設置しています。

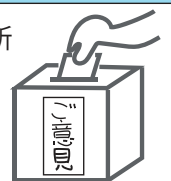
お住いの号棟・部屋番号、お名前を記載の上、ご投函ください。(書式は自由 / メールでも OK)

いただいたご意見は、座談会・団地まちづくり通信のなかで公開・共有化を図ってまいります。

※ご質問等にお答えする主旨のものではありません。

設置場所：管理サービス事務所
(第 1・第 3 団地)

※座談会開催日の前後一週間
を予定しています。



メール：国立市 富士見台地域まちづくり担当
sec_fuji@city.kunitachi.lg.jp

第1・2回座談会の概要



第1・2回の座談会では、UR都市機構から、「くらし」と「屋外空間」との関係など、UR都市機構の設計の進め方に関する考えが示され、暮らしの質を向上させるために団地再生の検討を進めることが説明されました。

また、国立市より重点エリア※においては、エリア内の団地再生と公共施設再編を連携させた一体的なまちづくりの検討をしていくことを説明しました。

その後、UR都市機構の考えるイメージ案について参加者で意見交換を行いました。

※重点エリア：市役所を中心とした公共施設が集積するエリア

第1回（R7.7.29開催）座談会の概要（国立富士見台第1団地）



第1回座談会の開催概要

- 開催日時：令和7年7月29日（火）午後7:00～午後9:00
- 開催場所：国立富士見台第1団地 集会所1-1
- 参加人数：15人
- メインテーマ：第1団地の並木道及び広場について

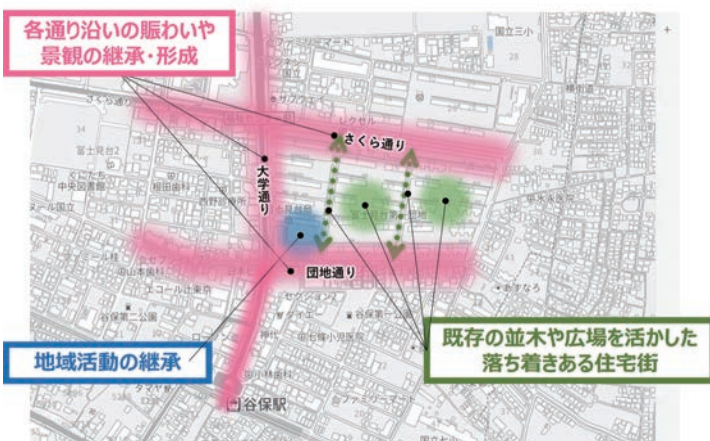
国立富士見台第1団地の座談会では、下図のように全3回を予定しております。各回のテーマは、「既存の並木道や広場の活用」「地域活動拠点のあり方」「通り沿いの賑わいや景観」の3つです。各テーマ毎のUR都市機構の考える将来イメージ案を説明いただき、お住まいの皆様と現在の使い方や感想、将来への希望、UR都市機構の将来イメージ案に対する意見交換ができればと考えております。

7/29に実施した座談会では、「既存の並木や広場の活用」をテーマに、使い方や感想、将来どう使いたいのか、また、UR都市機構の考える将来イメージ案に対してお住まいの皆様と意見交換を行いました。意見交換の詳細な内容は、P4・P5をご覧ください。

第1団地の座談会の流れ（予定）

11/4に実施する座談会は、「地域活動拠点のあり方」についての意見交換を予定しております。

■座談会の流れ（案）



第1団地
(7/29)

テーマ：既存の並木や広場の活用

- ① 並木道について
- ② 広場の使い方
- ③ 広場の構成

第1団地
(11/4)

テーマ：地域活動拠点のあり方

- ① 想定する地域活動
- ② 広場の構成
- ③ 広場周辺の建物構成

第1団地
(未定)

テーマ：通り沿いの賑わいや景観

- ① 大学通り
- ② 団地通り
- ③ さくら通り

第2回（R7.8.6開催）座談会の概要（国立富士見台第2・第3団地）



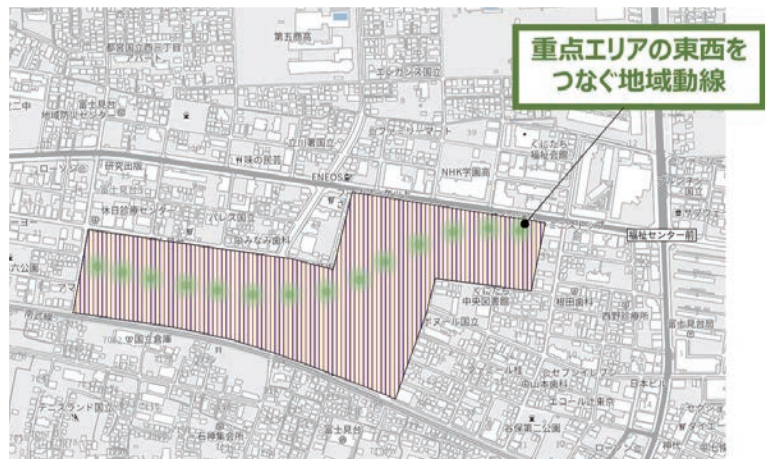
第2回座談会の開催概要

- 開催日時：令和7年8月6日（水）午後7:00～午後9:00
- 開催場所：国立富士見台第3団地 集会所3-2
- 参加人数：14人
- メインテーマ：重点エリアの東西をつなぐ地域動線の経路と休憩・活動スポットについて

国立富士見台第2・第3団地の座談会のテーマは、「重点エリアの東西をつなぐ地域動線」です。第2・第3団地は重点まちづくり構想の重点エリアにも指定されており、団地再生と公共施設再編が連携し、団地や公共施設の位置の変更も含めあらゆる可能性を検討している状況です。

また、重点エリアは、国立駅・大学通り、谷保駅、矢川駅などの地域拠点に囲まれており、各拠点からの往來を考慮した地域動線の計画が重要となると考えております。

これらを踏まえ、団地や公共施設などの将来の位置に関わらず、継承可能な、『地域動線』を基礎的なテーマとして設定しました。



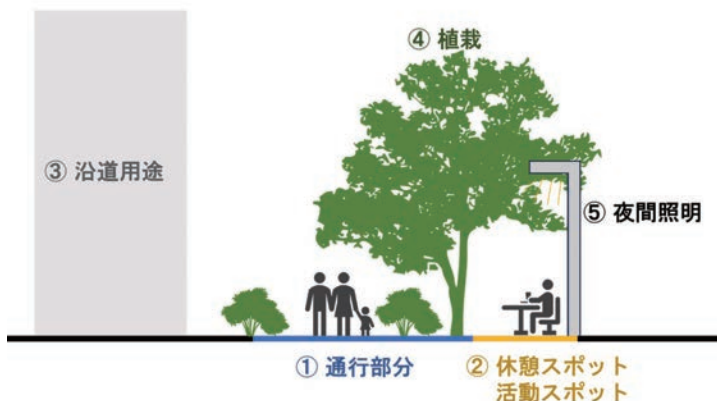
第2・第3団地の座談会の流れ（予定）

国立富士見台第2・第3団地の座談会は、右下図のように全3回を予定しております。各回それぞれUR都市機構の考える将来イメージ案を説明いただき、団地にお住まいの生活者の視点から皆様と意見交換をしたいと考えております。

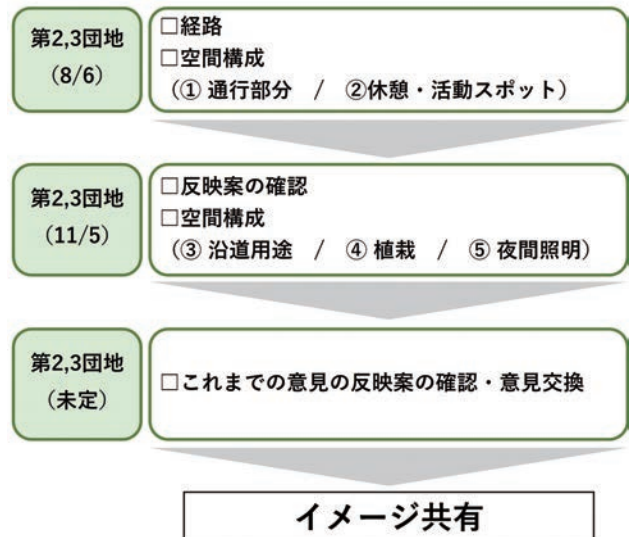
8/6に実施した座談会では、地域動線の経路と空間構成の一部である「通行部分」、「休憩・活動スポット」について、お住まいの皆様と意見交換を行いました。意見交換の詳細な内容は、P6・P7をご覧ください。

11/5に実施する座談会では、8/6に実施した座談会で頂いたご意見を反映したものを提示し、空間構成の「沿道用途」、「植栽」、「夜間照明」についての意見交換を予定しております。

■地域動線の空間構成イメージ



■座談会の流れ（案）



第1団地の並木道 及び 広場に関する意見交換

将来イメージ

並木道① たまご広場のイベント時に連携する通路

- ・けやき並木は極力残す
- ・歩行者優先の通路
- ・イベント時には屋台等が出せる



広場① だんちのになわ

- ・自由に使える広い芝生広場
- ・既存樹木を シンボルに！
- ・利用者（親子・小中学生・高齢者など）に応じた区域を設置



座談会での意見

- ・車の通り抜けを防ぐため、車は片側通行で、道幅もこのままがよい
- ・歩道は広くしてほしい
- ・救急車や介護車などの通行は必要
- ・イベント時の賑わいが道にしみ出すとよい

- ・大きな芝生の広場はとてもよい
- ・どーんと極力広く！木もほしい
- ・幅広い世代が様々な活動ができる広場に
- ・南池袋公園のイメージが合う
- ・芝生の管理や、利用者の騒音が気になる
- ・騒音が気にならないように、広場と住棟との距離をとったほうがよい

第1団地全体にかかるご意見

屋外空間に欲しいもの

○くつろぎ、憩える場所を

- ・お茶を飲んだり何かを食べたりしたい
→ベンチとテーブルがあるとよい
→飲み物や食べ物のお店があるとよい
→広場や緑を眺められるカフェがほしい
- ・木陰で涼んだり、休憩したりしたい
→東屋や屋根があるベンチがほしい
- ・溜まり場になってしまう不安もある
→人の見守る目が必要

○明るく楽しい緑を

- ・ケヤキは立派だが、暗い、洗濯物が乾かないなどの苦情もある
→もっと明るいイメージの緑にしたい
- ・柿など実の成る木は楽しく見た目もよい
→争いにならないようルールを決める
- ・木陰をつくる常緑の木も欲しい
- ・菜園や花を育てられる場所がほしい

道路や動線について

○利便性・回遊性を向上させたい

- ・外周の道路ネットワークも含めて考える
- ・今は決まった道しか使われていない
→分譲の入居で人の流れも変わるだろう

○歩行者に優しい道を

- ・バリアフリーを徹底して欲しい
- ・駐車場も必要だが、車の利便性を優先させ過ぎないようにしたい
→団地全体でよりよいバランスをとる

団地を地域に開くことについて

○地域の子どもたちに遊びに来て欲しい

- ・子どもの声がするのはよい
- ・子どもが遊びやすい団地にしたい
→まとまった広場は遊ばせやすい
- ・騒音への苦情に理解を求めていくべき

○地域への開き方は慎重に

- ・賑わい・活気も欲しいが環境悪化も不安
→開くか閉じるかの二者択一ではなく、程よいバランスが重要
- ・犬のフンや車の通り方などのルールの遵守を徹底させたい

維持管理や活用方法もあわせて考える

○芝生やベンチをしっかりと管理

- ・汚く使いづらいベンチがある
- ・芝生広場の管理が不安

○イベントで活用できるのか？

- ・担い手不足のなか、イベントスペースが使われるか？

その他

○たまご広場を居心地良くしたい

- ・日陰や樹木など、もっと潤いがほしい
- ・傾斜をなくしてほしい
- ・たまご広場の名前を残したい
→いちご広場の名前も残したい

○屋外空間にほしいもの

- ・ペットが飼え、遊ぶ場所もほしい
- ・硬い舗装だけでなく、ウッドチップなど土を感じるエリアがあるとよい

ター前

大学通り

並木道② 通学&憩いの安全な通路

- ・けやき並木は極力のこす
- ・通学路として安全を確保
- ・広い歩道を両側に配置
- ・ベンチを配置



- ・歩道を広くとって、途中にベンチなど休憩場所を設置してほしい
- ・車がスピードが抑えられる幅にする
- ・地域に開かれた道にするため、犬のフンや車の通り方などのルールを徹底する

広場② だんちのもり

- ・静かで厳かな雰囲気を維持
- ・子どもたちが自然を知り、学ぶ空間
- ・大人が静かに過ごせる空間



- ・花や鳥、虫などの生態系や森の景色など、自然のよさを残したい
- ・もう少し、日差しが差し込む明るい林にしたい
- ・夜も安心して歩ける街灯がほしい
- ・この場所の良さをアピールしたい

※ 図中には、並木道①・②と、広場①・②に関する主な意見を掲載しています。



団地周辺に関するご意見など

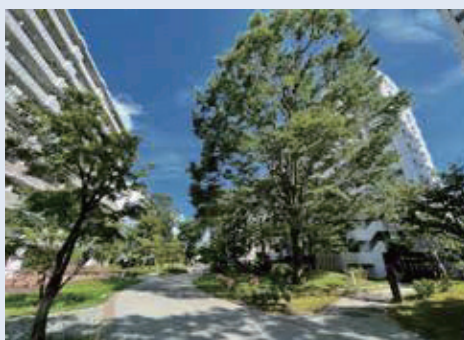
- ・大学通りは団地の顔になる道
- ・大学通りには歩きやすい歩道と、自転車道もあるとよい

- ・団地東側の道には、将来的に車が集まってしまう心配がある
- ・すぐ隣に商店街があって、生活しやすい

将来イメージ

○通行部分

- ・快適に歩ける通路幅
- ・視線が遠くまで抜ける
- ・適度に木陰が落ちる



ご意見

- ・暑い日でも、団地に入ると木陰で涼しい
- ・顔となる場には、歩いても自転車でも車イスでも通しやすい、広い道があるとよい

○休憩スポット

- ・ちょっとした休憩のためのベンチを複数箇所に設置
- ・場所によってはテーブルや屋根など、さまざまな機能を持つ空間もつくりたい

- ・滞留できることは、風景とし
→イベントスペースと差別
- ・もっと座れる場所がほしい。
→テーブル+ベンチは、道
→デッキや縁台、樹木の周
→日除けは屋根ではなく、
→立派すぎるベンチはかえ
- ・「水」の要素を入れると、よ

全体にかかるご意見

地域動線・よく使う経路

- ・動線の選択肢は東側は多いが、西側はほとんどない
→将来的な公共施設再編によって変わるんじゃないか
- ・自転車利用者は多い。荷物を持って歩くのは大変だし、ベビーカーの人もある
→自転車が通れることで生活しやすくなる
- ・第3団地を横断する道がせまい。深い緑の散歩道、遊歩道にして欲しい

よく使われている場所

- ・谷保第三公園は 6:30 のラジオ体操、谷保第四公園には 10:30 のラジオ体操に人が集まる。お昼は子連れランチで賑わっている
- ・第2団地の公園は、子どもによく利用されている

その他

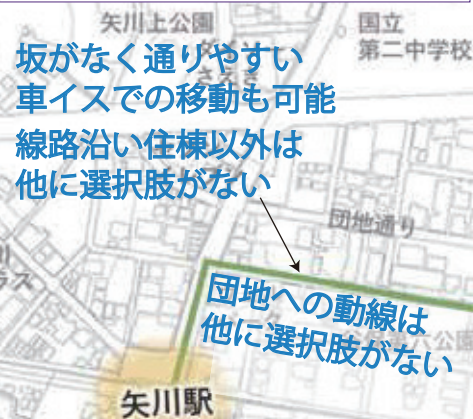
- ・昔はフクロウやキツツキなど様々な鳥がいたが、最近は見かけなくなった
→深い緑・森が団地の最大の特徴。
大切な魅力としてしっかり残すべき
- ・建物より高い樹木は日陰になり邪魔になりそう。
整理したほうがよいのでは
- ・南武線高架化による環境への影響が不安。線路沿いの緑は高架化された鉄道からの視線や騒音を防ぐ意味でも重要なので、しっかり残して欲しい
- ・小川や池など「水」の要素がほしい。
以前、地域には湧水や井戸がたくさんあった

【凡例】

現況に関する意見

将来に関する意見

—— 参加者が考える地域動線



○URの考える地域動線と顔





とてもよい
化できるとよい

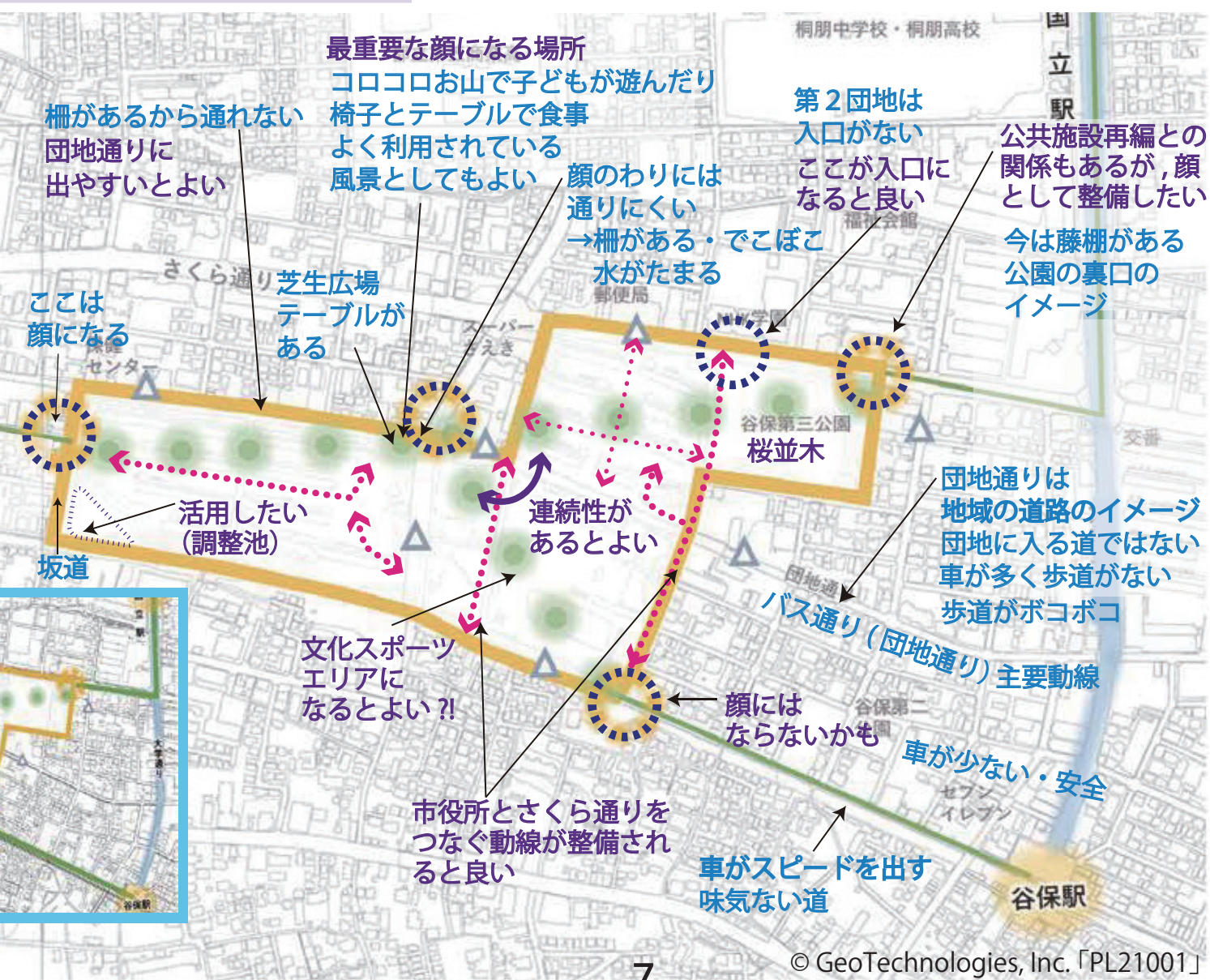
から少し奥の木陰にほしい
りに段差をつけ座れるように
緑のパーゴラや木陰がよい
って座りにくい
り憩える場所になるのでは

○活動スポット

- ・マルシェや自分の趣味（音楽など）を、共有できる場があるといい
- ・いろいろなことができるように、大きさの違う活動スポットを複数配置したい



- ・全体的に暗く、特に夜は怖い
→夜も活気がある地域の活動スポットがあるとよい。（生バンドの演奏、キッチンカーやマルシェ、ちょい飲みできるビアガーデンなど）
- ・団地に活動できる場所がなく、広場や水のある谷保第三公園や第四公園に行ってしまう
→ほっとするにぎやかさがあるとよい
- ・活動場所ができると人の流れも変わる。そのような場所があるとよい



国立市のまちづくりとしての取組み

国立市としては、団地も含めた地域全体の価値向上を目指しています。市民協働でまちづくりを進めるため、富士見台地域重点まちづくり構想を策定しました。その中でも右記に挙げる3つのテーマは国立富士見台団地と密に関係しています。

プロジェクト07は「支え合いのしくみづくり」、プロジェクト08は「団地の環境整備」、そしてプロジェクト09は「重点エリアの公共再編」を掲げております。

富士見台地域重点まちづくり構想

市民の対話と参加より
協働まちづくりの手引書として策定



重点的・優先的に取り組むべきプロジェクト

大切な視点

生活者の暮らしの視点から
団地・まちの価値を捉え継承していくこと

3つ団地に関連する重点プロジェクトを推進する。

検討の軸

プロジェクト07
支え合いの
しくみづくり

プロジェクト08
団地の
環境整備

プロジェクト09
重点エリアの
公共再編

目的

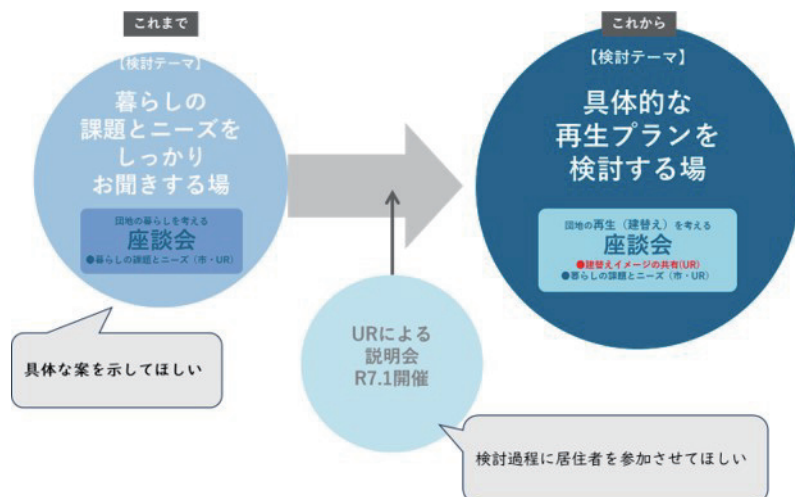
住み続けられる・住みたくなるまちづくりへ

これまでの座談会とこれからの座談会

国立富士見台団地が将来にわたって住み続けられる・住みたくなる魅力的な団地であり続けるために、令和6年度に団地の居住者の声を聞くために「団地の暮らしを考える座談会」を設置し、全3回実施しました。

また、令和7年1月にはUR都市機構によって「国立富士見台団地の再生（建替え）の検討に向けた説明会」が実施され、団地再生に向けた今後の流れ等について、居住者説明が行われたところです。

令和7年度からは、建替えに関連した内容について、より具体的に居住者の声を聞くために、「団地の再生（建替え）を考える座談会」と名称を変えまして、本会を開催しています。



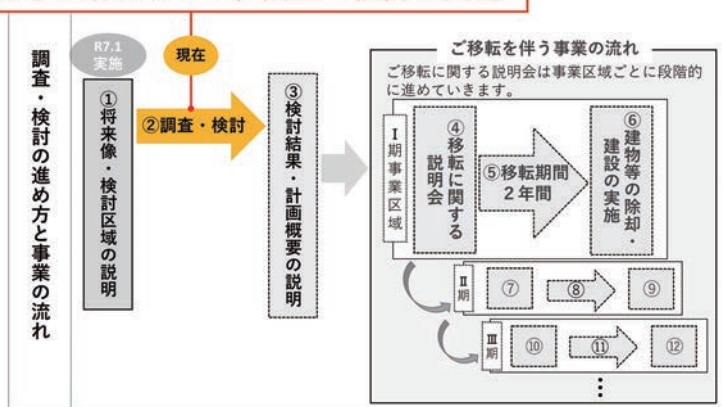
座談会の位置づけ

令和7年度の座談会は、右図の「②調査・検討」に該当し、団地の将来像へお住まいの皆様のご意見を反映させるべく、今の具体的な団地の使い方や将来的なご希望等をお聞きすることを目的としています。

UR都市機構の考える将来イメージ案に対して、お住まいの皆様にご意見をいただき、修正し、団地の将来像を作成していきたいと考えております。

周辺まちづくりの進捗やお住まいの方々のご意見等を踏まえつつ、調査・検討を実施

説明会資料 抜粋



お問い合わせ

座談会の運営に関するお問い合わせ 国立市 富士見台まちづくり担当（布施・三澤）
042-576-2111 内線 383
団地に関するお問い合わせ UR 都市機構 ストック再生企画部 042-595-9478